

子どもの音楽文化

岡本 純 杉谷 祐貴
滑川 貴大 宮内 一樹 渡辺 章裕

1 「子どもの音楽文化」とは何か

- ・子ども文化とは？ → 子どもたちによって 習得される
創り出される
分有され伝承されているもの

子ども文化の代表的なものが・・・ 子どもの伝承遊び！！

伝承遊びには、音楽的表現がいっぱい



かごめかごめ お手玉 花一匁 縄跳び じゃんけん 等..



さらに・・・ かくれんぼや鬼ごっこにも歌があった

「鬼ごっこするものこの指と一まれ」 「○○ちゃん遊びましょ」

「鬼さんこちら、手の鳴る方へ」 「カラスが鳴くからかーえろ」等..

☆伝承遊びは、遊びの開始から終わりまで歌を伴っていた。

しかし・・・現代社会においては必ずしも存続しているとは言い難い。

TVやDVD、ゲームの充実 わらべうたよりもアニメソング 曲のダウンロード..



資①

外での遊びが減った・・・

2 「子どもの音楽文化」の意義

(1) 音楽表現を学ぶ動機が子どもの側にあること

遊びが「伝承される」→子どもたちが大人に教えられるわけでもないのに、
いつの間にか伝わっている。(自発的)

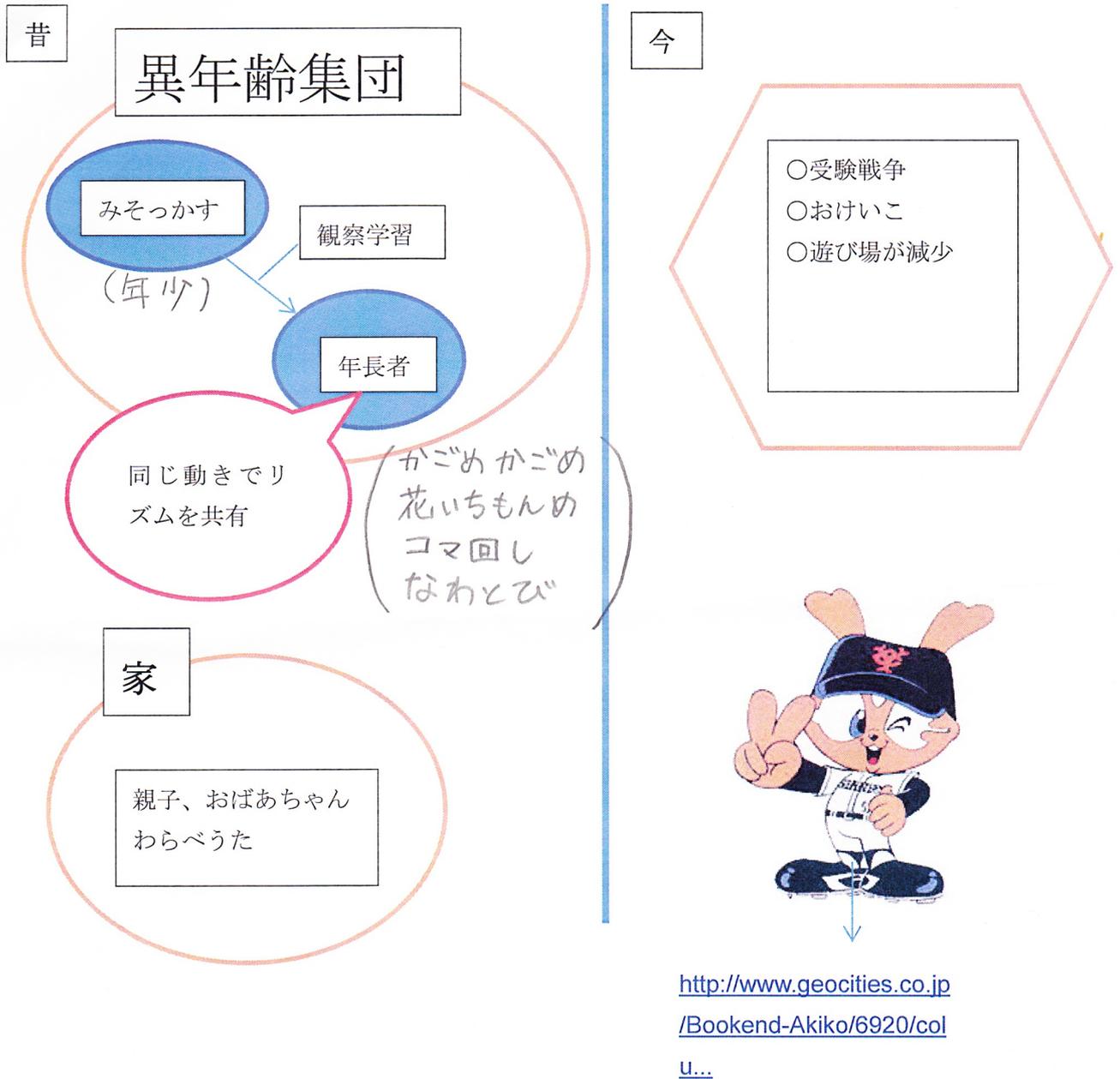
(2) 子どもたちが新しい歌を生み出す

わらべうたには唯一の正しい歌詞や旋律は存在しない。同じ歌でも地域によって歌詞が異なり、その地域の子どもたち独自の歌となる。

例：「お寺の和尚さんがカボチャの種をまきました・・・」

しかし、子どもにとって意義のある「子どもの音楽文化」は、現代社会においては、極めて衰退している。

3 「子どもの音楽文化」伝承の構造



☆私たちの身体は他者と同調する仕組みがある(あくび、もらい泣きの伝染)

☆観察学習(見て真似る)は、身体が他者とリズムを共有する仕組みをもつことによって可能

意思を超えて（思わず）体がリズムに乗ってしまう。

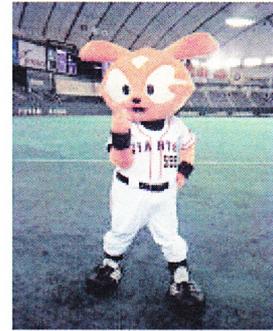
4 現代社会と「子どもの音楽文化」

(1) 学校教育

教材の選択や歌の開始の権限は常に教師の側にある。



子どもたちの自発的なリズムの共有は否定されることになる。
教師のリズムに乗ることを強要・・・ピアノや指揮



☆このような教師と子どもの間でのリズムの合わせ方は、本来のリズム共有と異なる。

http://acra.jp/staff/diary_kamada/diary.cgi?no=121

音楽の授業：楽譜によって唯一正しい旋律や歌詞が教授され、楽譜通りに歌うことを訓練される。



子どもがそのときどきの心情に合った歌詞や旋律を生み出すことは少なくなった。

音楽と遊び行為の分化

学校教育・・・縄の跳び方は体育の授業、歌は音楽の授業

歌に合わせて縄を回して跳ぶというような、体の動きのリズムと音声のリズムが一体となった活動は含まれていない。 資②

(2) メディア

・音楽機器の発達により、一人で音楽を聴く人が増えた



本来その場を共有する他者の身体との同調を楽しむ活動であるはずの音楽活動が個別化
例：「花一匁」・・・遊びが盛り上がるとテンポが速まり、音高は不安定になることが多い
身体が相互に影響し合っている

機器から流れる音楽は、一方向的で機械が刻むリズムに身体を服従

(3) 消費文化

「浅い」消費・・・音楽を聴くことは一時的に空腹を満たすスナック菓子のようなもの
(今の若者)

音楽は「浅い」消費の対象

番組放映期間中は流行するが、それは一時的でありいつまでも歌い続けられたり年少の子どもたちに歌い継がれることはほとんどない。

音楽は情報として消費されるものとなっていて、かつてのわらべ歌に見られたような創

造性を見出すことは困難。

5 「子どもの音楽文化」の再生はいかにして可能か

・身体がリズムを共有するようなコミュニケーションを、大人社会が取戻し、それを子どもが見て参加する場を作ること

例：青森の「ねぶた」・徳島の「阿波踊り」



祭りには歌や踊り、鳴り物が含まれており、身体のリズム共有が明白に現前化する文化の一つ

踊りや歌によって大人がリズムを共有することを楽しむものであると同時に、それに子どもが誘われ、大人のリズムに乗りながら周辺の子どものも、参加していくようになる。

・子どもたちがリズム共有によって集団を形成していけるような環境を構成すること

周边的(周りの子ども)な参加を生み出す状況を創り出すことが必要

最初は・・・プレイリーダーが数人の子どもたちと手遊びによって共有



他の子どもたちが歌に誘われて見に来る (周边的な参加)



見ていた子どもたちが唱和し始め、次第に身体の動きを共有して手を動かし始める。

周边的な参加から全体的な参加になったら、プレイリーダーは抜ける

大人から相対的に自立して子どもたちがリズムを生み出し共有していくことこそ

「子どもの音楽文化」の萌芽

大人の役割—子どもと共にリズムを共有しつつ、幼少期の遊びを懐かしむこと



<http://kitchen-blender.seesaa.net/article/11915113...>